



▲ゴールまであと一歩 (むかで競争・上中山地区)

▶コンビの息もヒツタリ
(ラブラブリレー・大山地区)



熱気が 伝わってきます 各地区運動会

記録的な猛暑が続いた夏がすぎ、やっと秋らしくなってきた9月26日(日)に町内4か所で地区運動会が行われました。終了間際の雨で競技が最後までできなかったところもありましたが、各地区とも多数の方の参加で賑わいました。



▲息を合わせて高く高く!
(みんなでジャンプ・逢坂地区)



▶バランスよく運んでます
(ボールを運べ・下中山地区)



▲観察指導員の解説を聞く参加者

8月21日(土)、NPO法人大山中海観光推進機構の主催(後援:大山町教育委員会、協力:オオサンショウウオを守る山陰ネットワーク)による「ハンザキの生息する森と川を訪ねる自然観察会」が開かれ、スタッフも含め約60人が参加し、盛会となりました。

大山町内ではほとんどの河川で、国の特別天然記念物オオサンショウウオの生息が確認されています。今回会場となったのは旧奈和集落の南約500mの地点で、名和川の中流にあたります。名和川は、オオサンショウウオの確認例が多いことで知られています。

盛会だったハンザキ 生息地探検ツアー

られています。

オオサンショウウオは夜行性の生き物なので、昼間に行われた観察会では、その姿を見ることができませんでしたが、自然観察指導員の桐原さんと青柳さんから、河川生態系の中で頂点に位置するオオサンショウウオやその生息環境にいる他の生き物、自然環境のすばらしさなどについて解説があり、参加者が自然を守ることの大切さを知り、オオサンショウウオのことをよく知り、自然環境を守ることへの理解を深めることを目的とした「ハンザキガイドブック」が、この企画にあわせて自然観察指導員などの協力を得て作成され、当日の参加者に配られました。

